

# ともに



平成29年10月24日発行 <<文責>> 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

## 1年生から5年生が「修学旅行」で楽しく学びました



雨が心配されましたが天気にも恵まれ、各学年とも計画通りに実施できました。子ども達は、この修学旅行を通して、新たな気づきや発見ができたことでしょう。これで今年度の観瀾校の修学旅行は、小中学部ともに無事に終了いたしました。お弁当等、いろいろな御世話をいただきありがとうございました。今回の見学先は以下の通りです。

- 1年生・・・牛津蒲鉾、どんぐり村
- 2年生・・・志田焼きの里、和泉式部公園、友禅飲料
- 3年生・・・大牟田市石炭産業科学館、大牟田動物園
- 4年生・・・西日本広域リサイクルプラザ、佐賀県立宇宙科学館
- 5年生・・・福岡市民防災センター、福岡タワー、NHK福岡放送局



5年



1年



2年



3年



4年

## 今度の日曜日 29日は、「第4回文化発表会」を開催します

今年度のスローガンは、「New Story ～みんなで作る物語～」です。このスローガンには、次のような生徒達の願いが込められています。「Newは、今年の文化発表会から1年生～9年生までの全員参加になること、Storyは、1つ1つのステージを物語の1ページとして、一人一人が輝いていくことにより、大きなひとつの物語が生まれる。芦刈観瀾校全員ですばらしい物語をつくりたい!・・・」ちなみに、観瀾校歴代のスローガンは次の通りです。並べて改めて見てみると、どれも願いの詰まった素敵なスローガンですね。

- 第1回 「START」 ～今、はじまる～
  - 第2回 「SUNSHINE」 ～笑顔輝く太陽のように～
  - 第3回 「Flower」 ～笑顔の花を咲かせよう～
- 昨日、プログラムを各御家庭に配付しています。黄色の紙です。中



学部では、「合唱コンクール」も開催されます。当日は、多くの方々に是非お越しいただき、観瀾校の子ども達のがんばりと学校の取組の様子を見てほしいと願っています。

## 「小城多久地区中体連新人大会、ムツゴロウロードレース大会」終わる

新チームの公式戦となるこの経験を通して、チームの課題や個人の課題を見つける大会になったことと思います。この課題を解決していくためには、日々の練習等でしっかり考えながら取り組んでいくことが大切です。保護者の皆様も御忙しい中、御声援いただきありがとうございました。今後とも、子ども達の健全育成に資する部活動への御理解と御協力、御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



## あしかり子ども園から「職員1日参観」

18日(水)に2名の先生が、1年生から4年生、のびのび学級での授業や休み時間等で子ども達の様子や観瀾校の取組について参観し、研修されました。子ども達の健やかな成長のために相互理解を深めて、幼保小連携の充実に資するため、毎年続いている取組です。



## 小城市教育委員会からの「学校訪問」で元気をいただきました

小城市教育委員会から、児童生徒の様子、職員の指導の様子、学校の取組等について参観していただきました。感謝申し上げます。以下のような御指導、エールをいただきましたので、これからの励み、改善の視点として、学校全体でしっかりと生かしてまいりたいと思います。

- 小中一貫教育のよさを感じた。ほのぼのとしたよき雰囲気の中、協力して学ぶ子どもの姿がある。
- 子どもが落ち着いていて先生も一生懸命に取り組まれており、子どもと息が合っている。日々の指導・支援で子どもが気持ちよく学んでいる。教室前面の掲示物は、小さくてもラミネート等は光るため配慮がある。
- グループでの話し合いも、みんなで頭を寄せ合って考えている姿にこれまでの積み上げを感じる。小学部と中学部が調和し、融合しており、今後も全職員で小中一貫校のチーム力を高めていってほしい。
- どの学年も、学習に向き合うよい姿がある。特に1年生は、ひとクラスで学級の人数は多いが、まだ小さいのに学業指導がよく行き届き、はきはきと気持ちよく学習していて感心した。
- 特別支援学級の子も、みんな落ち着いて前向きに学習している姿にとっても成長を感じて嬉しくなった。これからも子ども一人ひとりに寄り添った支援の充実、可視化やUDの視点を大切にしてほしい。
- 学習環境が明るく広々としていて、手入れが行き届き整っている。掲示物も充実しており、持ち物やトイレ等がよく整理整頓され気持ちよい。地域ボランティアの協力で畑の整備もすばらしい。環境が人を育てる。
- 小中一貫校として、学校だより等による地域や保護者への情報の発信、共有によく努力されている。
- 学力向上は、校内研究の充実につける。新学習指導要領を踏まえた先進的な取組の進展を期待している。
- 校内研究の「書く活動」を効果的に取り入れた授業改善の取組に、一貫校のすばらしさを見る思いがした。職員が同じベクトルを向いている。書く活動は、書かせればなしにせず、書いたものをどのように効果的に取り扱うのかをよく吟味してほしい。書くことのよさや必然性を意識した今後の取組の充実に期待している。
- 学習のチェックリスト導入や同じ基礎問題に2回以上取り組ませて積み上げると学習定着に効果がある。
- おもてなしの心が伝わり、とても気持ちよく参観することができた。
- 今の様子、姿を嬉しく思った。目標に向かう姿勢があり、今後も小中一貫校として発展していってほしい。

